

CASIO[®]
5570***JA**#
 取扱説明書

5570

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

本機の詳しい取扱説明書（操作ガイド）およびO&Aについては、下記ウェブサイトをご覧ください。
https://casio.jp/support/wat/



安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠ 注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

⚠ △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。

⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

! ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。

この時計の特長

◆**ワールドタイムがわかります**

世界27都市の時刻を表示できます。

◆**タイマーとして使えます**

設定時間をカウントダウン/計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

◆**ストップウォッチとして使えます**

1秒単位で60分まで計測できます。

◆**アラームを設定できます**

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

安全上のご注意

⚠ 危険

電池について

⊘ ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠ 警告

スクューバダイビングに使用しない

⊘ 本機をスクューバダイビングに使用しない。本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

⊘ 本機を分解・改造しない。けがの原因となります。

⚠ 注意

お手入れについて

⚠ ケース・バンドは常に清潔に使う。ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

⚠ 時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- 金属・皮革に対するアレルギー
- 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
- 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ご使用にあたって

⚠ 時計の表示は、安全な場所で確認する。思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

⚠ 時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

⚠ 就寝時は時計を外す。思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

⚠ 小さなお子様と接するときは、時計を外す。お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

⚠ 電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。そのままにしておくと、故障の原因となることがあります。

⚠ 時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

都市コード一覧表

| | コード | タイムゾーン | 都市名 |
|--|------------|----------|-------------|
| | GMT | 0 | 協定世界時 (UTC) |
| | LONDON | LON 0 | ロンドン |
| | PARIS | PAR +1 | パリ |
| | CAIRO | CAI +2 | カイロ |
| | JERUSALEM | JRS +2 | エルサレム |
| | JEDDAH | JED +3 | ジェッダ |
| | TEHRAN | THR +3.5 | テヘラン |
| | DUBAI | DXB +4 | ドバイ |
| | KABUL | KBL +4.5 | カブール |
| | KARACHI | KHI +5 | カラチ |
| | DELHI | DEL +5.5 | デリー |
| | DHAKA | DAC +6 | ダッカ |
| | YANGON | RGN +6.5 | ヤンゴン |
| | BANGKOK | BKK +7 | バンコク |
| | HONG KONG | HKG +8 | 香港 |
| | TOKYO | TYO +9 | 東京 |
| | ADELAIDE | ADL +9.5 | アデレード |
| | SYDNEY | SYD +10 | シドニー |
| | NOUMEA | NOU +11 | ヌーメア |
| | WELLINGTON | WLG +12 | ウェリントン |

| | コード | タイムゾーン | 都市名 |
|--|----------------|---------|----------|
| | | --- | -11 |
| | HONOLULU | HNL -10 | ホノルル |
| | ANCHORAGE | ANC -9 | アングラジ |
| | LOS ANGELES | LAX -8 | ロサンゼルス |
| | DENVER | DEN -7 | デンバー |
| | CHICAGO | CHI -6 | シカゴ |
| | NEW YORK | NYC -5 | ニューヨーク |
| | CARACAS | CCS -4 | カラカス |
| | RIO DE JANEIRO | RIO -3 | リオデジャネイロ |
| | | --- | -2 |
| | | --- | -1 |

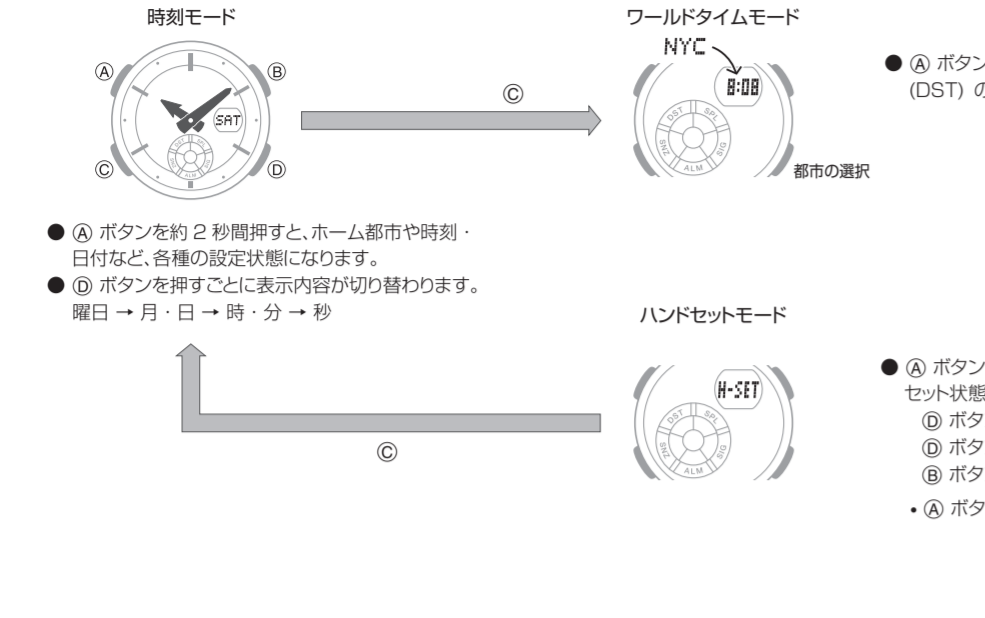
目**参考**

- この表は、本機の都市コードの一覧（2017年7月作成）です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時 (UTC) を基準にしています。

時計の使い方

モードの切り替えと操作

◎ボタンを押すと、以下のようにモードが切り替わります。



時計の使い方

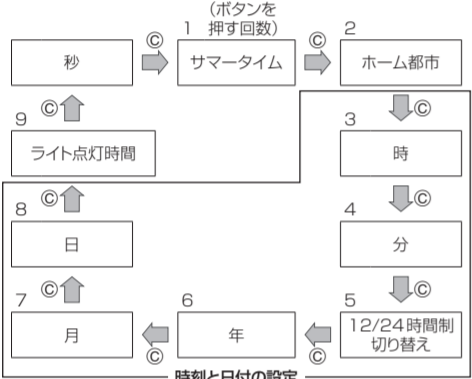
時刻や日付の設定

最初にホーム都市とサマータイムを設定し、それから時刻や日付を合わせてください。

① 時刻モードのとき、**①**ボタンを2秒以上押し続けて**セット状態**に切り替えます。

秒が点滅します。

② **②**ボタンを押して、設定する項目を選択します。



③ **③**または**④**ボタンを押して設定を変更します。

| 画面 | 変更項目 | 操作 |
|----|---|-------------|
| | 秒を「00」にリセット ・30～59秒のときは1分繰り上がります | ①ボタンを押す |
| | サマータイム/スタンダードタイムの切り替え OFF:スタンダードタイム ON:サマータイム | ⑥ボタンを押す |
| | 都市コードの変更 | ⑧または⑩ボタンを押す |
| | 「時」「分」の変更 | ⑪または⑫ボタンを押す |
| | 12時間制 (12H)と24時間制 (24H)の切り替え | ⑬ボタンを押す |
| | 「年」「月」「日」の変更 | ⑧または⑩ボタンを押す |

④ **④**ボタンを押して、設定を終了します。

ご使用上の注意

■**防水性**

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| | | | | |
|-----|----------------|-----------|--------|-------|
| | 日常生活用防水 | 日常生活用強化防水 | | |
| | 5気圧防水 | 10気圧防水 | 20気圧防水 | |
| 表示 | 時計の表面または裏ぶたに表記 | 「BAR」表記無し | 5BAR | 10BAR |
| 使用例 | 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ |
| | 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ |
| | ウインドサーフィン | × | × | ○ |
| | スキンドビング (寒滞り) | × | × | ○ |

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング (空気ボンベ使用) でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿度の高い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。防水性能の低下や、ガラスの内側に曇る原因になります。
 - ・「水中」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - ・入浴のときに使用すること
 - ・温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - ・時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に濡したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

- 防水性を保つために定期的(2～3年を目安)なバッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側に曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。なお、曇りが消えなかつたり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、「修理を」修理申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■**バンド**

● バンドをさつしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や粉塵、けがの原因となり、バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を「修理申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸水性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような痕跡が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうすやボタンや回転ベゼルは、長期操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうすや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

- ①**さび**
 - 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - ・汚れにより酸素が飽和されると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
 - さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

● 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやさびがしみ出ると、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

- ②**劣化**
 - 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

①かぶれ

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ご使用上の注意

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつかったりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計とコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり」誤った時刻表示などの原因となります。
- 極度に強い磁気 (医療機器など) は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂(外装)部品は日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換と樹脂品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、故障の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池(モニター用電池)は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。

- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗します。「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなった」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油類またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期貯蔵利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくこと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。

- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると変色する場合があります。

- 塗装部品は、使用状況(温度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

- 望月商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起すことがあります。

- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド※を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)

